

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report 1

目 次

2011 No.676

3 はじめの言葉

4 電子出版元年に潜む国家間の熾烈な覇権争い 田原文夫

昨年は「電子書籍元年」と呼ばれた。元年というからは一般普及前夜だということだ。本格的な展開は本年度以降、これからが勝負である。活字離れが叫ばれ、それが書籍販売不振の理由、背景だと言われたのが、今度は電子書籍にすれば爆発的な売上が期待できると囁し立てられている。醒めた仁が冷静に言った。「活字で本を読まない人間は、電子でだって文字は読まない」。ごもつともである。媒体が変わることでの本当のインパクトはこれから出てくると思う。訳知り顔で「進む活字離れ」などと安っぽい分析をしてもらいたくないものだ。電子書籍になることで、書物(書籍)という知的財産の殿堂「図書館」がどう変貌していくか。既存の書籍流通業界がどのようになっていくのか。その方も大いに気になる。また、電子書籍の記録媒体の寿命はどれくらいか。電子書籍リーダー機器のライフはどれくらいあるのか。何百冊、何千冊の電子書籍ライブラリーが、ある日突然、跡形もなく消えてしまうこともあり得る。そのバックアップ体制は万全だろうか。安直コピーによる著作権の行方も追ってみる必要があるかもしれない。

1 1 情報社会を考える その4

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか 編集部

新年に当たって、サイバー空間をフル活用しなくてはならない情報社会とは何か、我々は情報社会という世界で、どういう行動様式(ビヘイビア)が求められるのかを、改めて考えていきたい。個人所有の象徴であるパソコンが、インターネット接続されることで地域的つながり、世界的連携へと通じる社会になってきた。ローカル/パーソナルな存在が、同時にリージョナル、グローバルな存在に直結しているということだ。極く個人的な行動が即世界的な行動に通じてしまう、それが情報社会である。クラウドサービスが強く主張される今日、各国政府、地方自治体そして世界中の企業/団体をローカル/パーソナルな出発点として、リージョナル、グローバルな大規模連携を想定する時代を迎えた。情報社会の形成が、より現実化してきたと言える。特にシステムリソースの自前所有一辺倒から第三者が提供するシステムリソースの有効活用を指向できる時代の幕開けに注目したい。来るべき情報社会では、我々にはどんなシステム活用ビヘイビアが求められるのか。誰もが納得し、コンセンサスのとれた方向で情報社会が機能した時、我々がこれまで味わったことのない素晴らしい世界が実現できるものと確信したい。

15 トップ登場

SinoComが目指すレガシーマイグレーションとは何か

サイノコム 矢部眞一

自社の情報システムの全体像が解らない、把握できていないという声が、改めて聞かれるようになった。既存のシステムの現状が把握できていないということは、問題が何か、何をどうすれば、どうすることができるのかが解らないということである。企業等ユーザー組織は、情報システムを駆使することで事業体全体の活動を、より合目的的に運営してきているはずである。事業主体を活性化させるためのツールとして、あるいは組織運営の要となる神経系として情報システムを活用してきているはずである。そのツール自体の全体像が把握できていないというのだから困ったものである。確かなことは、既存の情報システムが組織運営に問題を生じていることだけは解っているのだが、改良の手をどこから入れるべきかが判らない。問題であると言うほかない。既存システムをリフレッシュさせ、新しい息吹を吹き込むためのシステム移行は待ったなしである。レガシーマイグレーションと言われるこの作業、果たしてどういう心構えで臨むべきか。その要諦をサイノコム・グローバル・ソリューションズの矢部眞一社長に聞いた。（編集部）。

23 これからの情報システム運用

活動分析に基づく運用知識抽出方法

山本修一郎

本稿では、人間活動の構造に着目した活動分析手法に基づいて運用知識を抽出する分かりやすい方法を紹介する。また ITIL (IT Infrastructure Library)v3 のインシデント管理を例題にして具体的な適用方法を解説する。

32 「所有から活用の時代」はどこまで本当か

リスクがないなら万々歳

aism

まだまだ、所有を止めるわけにはいきそうにない

クラウドサービスだけではなくアウトソーシングサービスの活用全般について言えることだが、どこまでを自前でやって、どこからを他人任せとするかは、今までもそして今後とも非常に大きな課題である。「所有の時代から活用の時代」などとクラウドサービスを売り込む側は、我が意を得たりと得意満面である。そこに何のリスクもなければ「御節御もつとも」なのだが、そうは問屋が卸さない。システムリソースの保守課金問題を検討し、そこにリスクはないかと検証を始めた aism ネットクラブだが、出るは出るは、クラウドサービスに潜む問題点や課題が次々と出てくる。やはり、ビジネスコアの部分をはじめ、情報システム展開で全てのリソースの所有を停止するにはリスクが大きいようだ。合わせて、コストの殿堂と目されてきた情報システム部門／データセンターの存在が、実は大きなプロフィットセンターとして見直される可能性もあるという見解までも出てきた。

37 人材紹介業界の秘話と悲話

一に雇用、二に雇用、三、四が無くて五に雇用

Dr. ベスト

第五話 猫に小判／小人扱い難し

買い手市場の人材調達市場。まさに言いたい放題、キャリアだ、スキルときた後、今度は、「求む50歳以下」を要求する。詳しくは本編をお読みいただくとして、そこには深刻な問題が。騙されているふりをして騙すというのは心地よいが、上手くやっているつも

りで上手くやられているほど悔しいことはないはず。骨董品の真贋判断は、ひたすら自分の眼を養うほかに手はない。自力を持たない人間や組織に、輝く栄光がもたらされるとは到底思えない。自力がなければ、他力を活用することはできない。自力もないのに、他力を自由にしたい。これこそまさに、人材調達／要員活用の悲話かもしれない。

4 1 IT新時代とパラダイム・シフト

第16回 国境を越えるクラウドサービスとその課題 根本忠明

国中を挙げて一色に染まったようなクラウドサービス。まさに「魔法のランプ」ならぬ「魔法の雲」だと言わんばかりである。先行するアメリカ勢に対して出遅れているとされる日本企業勢。果たしてそこには、どんな課題があるのだろうか。

4 7 続インテリジェンスへのいざない ⑬

情報管理の神髄は人と人の能力を活用すること 今井 武

情報がいつも正しいとは限らない。情報管理の目的によっては使いものにならない情報もある。腐った情報をもとに分析加工されたインテリジェンスは、やはり使いものにならない。使えないどころか害や毒にさえなる。情報管理を進めるには関する人間力も必要だということも忘れてはならない。正しい情報管理を担う人間力には、技術としての情報管理力だけでなく、情報を分析し活用する情報処理力が含まれる。そして情報管理を成功に導くカギは、情報管理に携わる関係者の信頼関係である。人間としての信頼関係のない情報管理は、情報漏洩など不幸な事件を起こす。情報管理は決して事件対策ではない。

5 0 一味違うウェブ検索

第六話 官公庁や自治体のウェブサイトアクセスする ぐうのうえがへい

官公庁、地方自治体のウェブサイトアクセスすることで、生の一次情報を得ることができる。そこには、新聞やTVなどマスメディアがニュースとして取り上げてない情報が、沢山ある。サイト内検索をすれば、簡単には入手できない一味違う「プラスα」の情報が入手できる。

5 2 しすてむこらむ COMPUS 2010開催

約500名参加、最大規模ユーザー会 メゾフォルテ

5 3 今月の認定情報管理技術者

5 5 連載 ことわざ笑タイム

すぎやまちヒロ

お知らせ

求む！ ヒーローズクラブ入会希望者

「We are the HEROes」

ヒーローになろう

詳しくは

cr-info@jmsi.co.jp

まで

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁

石井義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの構造	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネストド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス OLAP

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの落とし穴

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシントリニティ 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除
第二章 aism情報セキュリティマシントリニティ研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 匿名化された電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネットワークのための情報オーナーの課題
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛戦線心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2010年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の情報システム革新

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分割方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300) A5版 228頁

加藤洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売定も企業体質
■ ニュースリリースは東方向運賃	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合う16の鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー—
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300) A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開港法の謎
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米軍チーム乗組の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たな仲間
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米軍事務所移転と新たな組み
第五章 FJO, IBM競争	第十五章 開港フル稼働とJ/Nシステム
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番稼働日
第八章 米軍チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 稼働その一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米軍チーム、異なる三人組	第二十章 稼働その二 安定稼働と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp